

札幌街歩き ツアー

～歴史、地形等の観点
から楽しく学ぶ～

7月13日に行われた「ほっかい
どう学インフラツアー」は、「札幌

街歩き」。街歩き研究家の「ブラサトル」こと和田哲さん及び札幌開発建設部都市
圏道路計画課職員と共に、身近な札幌という街の歴史とインフラの繋がりを学
びました。参加者は教員(お子様も参加)や北海道教育大生等、約30名近い人数
となり、盛況を博しました。

【和田哲さん解説による街歩き

～札幌の試行錯誤の歴史はすぐそばに～】

(札幌テレビ塔:建てられた当初の色は?)

ツアーのスタートは、札幌のシンボルである「札幌テレビ塔」。参加者同士で自己紹介を行った後、和やかな雰囲気です。ツアーが始まりました。「最初は赤くな
かったテレビ塔」。1957年(昭和32年)にテレビ塔が
建てられた当初はなんと、銀色だったのです。当時は
石炭による煤煙汚れが目立ち、雪が積もった際に飛
行機から視認しにくいとの理由で、1963年(昭和
38年)に銀色から薄朱色に色が塗り替えられていた
のです。



「ブラサトル」風景

わださとる



街歩きガイドの和田哲さん



札幌テレビ塔からツアー開始

(創成橋:札幌の街並みや道路の起点はここから)

次に、札幌最古の石造橋である「創成橋」に移動。創成橋に銅像の残る大友亀太郎が、1866年(慶応2年)、札幌開拓にあたり最初に手がけたのが大友堀(現在の創成川)で、大友亀太郎は更に道路開拓も手がけ、現在の札幌の区画割りの起点となった場所であることを解説していただきました。参加者は創成橋には過去に市電が走っていた時代があったことや、橋梁付近が映画の舞台にもなっていたことにも驚き、歴史とドラマを身近に感じておりました。

また、創成橋は明治時代のアーチ型、欄干に擬宝珠^{ぎぼし}(※)のついている形状を残し平成に復元されたことが評価され、平成22年度に土木学会の選奨土木遺産に認定されています。

※ 擬宝珠(ぎぼし)・・・欄干などの柱の上端につける宝珠形の装飾



札幌開拓の礎を築いた、大友亀太郎の銅像



「創成橋」にも数々のドラマがあります

(札幌市役所正面玄関前 札幌冬季オリンピック聖火台)

「札幌市役所正面玄関前に、1972年冬季札幌オリンピック聖火台が置かれていることをご存じでしたか？」

と、和田さん。「聖火台を展示できるのは、オリンピック開催地の特権なんです。」その言葉に参加者は誇らしい気持ちになり、歩みを先に進めます。



実際に使われた聖火台を前に解説

(札幌市時計台:時計のサイズを間違えた過去)

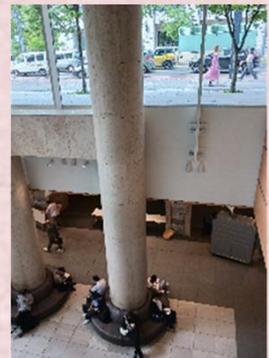
1878(明治11年)旧札幌農学校演武場として完成した「札幌時計台」。当初は、時計ではなく、小さな「鐘楼」があったのみでした。完成式に出席した黒田清隆開拓長官が、「ここには時計があったほうがいいなあ」という思いつきが、今の「時計台」に繋がっていることや、海外に注文した際に、手違いで予定よりも大きい時計が届き、時計の大きさに合わせて塔を建設し直したため「頭でっかち」になったというエピソードも、笑いも交えながら語っていただきました。



札幌時計台にも、人間味あふれるエピソードが秘められています

(大通BISSE:地上と地下を両方見られるスポット)

「大通BISSE」では、「1Fホールは、地上と地下を同時に見られる希少なスポット」と教えていただきました。



大通BISSE 1Fホール

(北1条交差点:北1条通の道幅が異なる理由は?)

「北1条通は、駅前通との交差点を境に、道幅が変わります。」と、1875(明治8年)年の開拓使があった当時の地図を見ながら説明。「当時の道路は幅11間(約20m)が基本でしたが、開拓使本庁の外周路は幅20間(約36m)もありました。駅前通と北1条通の区間及び、西3丁目~西8丁目区間は外周路だったことから20間のまま残りましたが、その区間外は、11間のままで幅が異なるのです。」とも教えていただきました。



明治の地図を確認しつつ解説



交差点の北海道神宮の社号標:札幌神社から北海道神宮に社号を変更した石の入替の痕跡がある名残がわかります

(北3条広場:札幌初の舗装は「木塊」)

「北3条広場」は、1924年(大正13年)に札幌初の舗装道路が敷かれた場所。当時はおなじみの赤レンガではなく、「木塊舗装」だったことや、芝生の広場も整備されるなど、西洋風のまちづくりを目指していましたが、当時の日本人にはなかなか理解されず、芝生だった場所がサッポロビールの「ホップ園」に姿を変えたことなども、参加者は驚きを持って聞いていました。



見慣れた赤レンガの風景。昔は北3条まで市電が走っていました。

(JR札幌駅前・JRタワー:歴代札幌駅、地質の境目、ななめ通り等)



「JR札幌駅」に場所を移し、札幌駅の移り変わりを学びました。明治時代の「3代目駅舎」が当時としては最先端だったルネッサンス様式の建物で、映画の舞台になるほど美しかったことや、札幌駅は建て替えの度に駅舎の位置が前後に移動していることなども教えていただきました。JRタワー登頂後は、高層から



JRタワーでは全方向で解説いただきました



黄色点線のラインが、「地質の境目」
※ラインより上部(北側)が元湿地帯のため、高層ビルが建っていないことがわかります

の眺望を眺めながら、豊平川が形作った扇状地と湿地帯の「地質の境目(高層ビル建設の北限のライン)」や、日本において札幌村(当時)がはじめてたまねぎ栽培に成功し、そのたまねぎが本州に運ばれた歴史のある「ななめ通り」などを、参加者たちは自身の目で確認しながら、熱心に聞き入っていました。

(チカホ～北1条歴史写真館)



アイヌ文化の彫刻を解説。1本の木から彫られています。



「北1条さっぽろ歴史写真館」。札幌の再開発エリア特集が行われていました。



【チ・カ・ホの事業を学ぶ～安全で快適、にぎわいある空間の創出～】

「札幌駅前地下歩行空間(以下:チ・カ・ホ)」について、札幌開発建設部都市圏道路計画課の大西補佐から解説していただきました。

チ・カ・ホは延長約520m(国施工約160m、市施工約360m)、幅員20m、事業期間は平成17～23年度で、平成23(2011)年3月12日に開通。

利用者の利便性向上、にぎわい空間の創出などが評価され、照明普及賞や全国街路事業コンクール特別賞も受賞。

大西補佐からは、チ・カ・ホの現在までの歩みや、工事の実施状況について、資料やタブレットの動画スライドを用いてわかりやすく解説していただきました。

チ・カ・ホ開通後は、地上地下含めた通行量が開通後9年で約2.4倍の9.0万人／日に増加。利用者の安全で快適な移動を支援していることや、多くのビルが接続されるとともに、民間投資によるビルの建て替えが進み、企業の都心部への集積が促進、札幌駅前通の地価が開通前に比べ約2.2倍に上昇したことも教えていただきました。

また、北海道胆振東部地震(H30.9)の際に、一時滞在施設として帰宅困難者・旅行者を受け入れた事例など、防災面での有用性も解説していただき、災害に備えるチ・カ・ホが、安全に暮らせるまちづくりに貢献していることの学びも深まりました。



工事の実施状況について、動画スライドを用いながら解説。

(ツアー感想共有)



左:「当時の人々の暮らしに思いを馳せ、時間旅行をしている気持ちになれた。子どもたち(生徒たち)に伝えたい。」中央:「面白そうと思えることが多く、また参加したい」右:「知ろうとしないと得られない情報があり、自分から知ろうと思えた」などの、感想の共有がありました。

参加者の感想

(特に印象に残った点)

- ◆どの場所でも、人の思いや願いがあって今のかたちにつながっているということが分かったことです。時計台のように、そんな理由で！？と思うところもあれば、チカホのように、より良くしたい、という強い願いがあることが興味深かったです。
- ◆中心部の街の形成に開拓使などの名残が色濃いこと。和田さんの丁寧な説明とサービス精神と博識ぶり。
- ◆テレビ塔の成り立ち(時計についての裏話や赤色の理由等)を学ぶことができたこと。札幌のシンボルの一つであり、身近な存在の知らなかったことを知り、面白かった。
- ◆知っている場所、何度も来ている場所について、ブラタモリ気分です。新しい知識を得ることができたこと。
- ◆札幌中心部のまちづくりの歴史の「あと」が各所に隠れていること。和田さんのお話が非常に面白かったことです。新しい研究や知らない人にはわからないことを知り、当時の人々のくらしや社会の仕組みを創造できることは大変大きな学びとなりました。
- ◆その他:「創成川散策・歴史」、「札幌駅・大通公園の歴史」、「扇状地の地形」等

(全体を通じての感想)

- ◆いろいろな歴史や人の関わりがあって、今の街並みがあるんだなと感じてから、タワーから街を見渡したときに、さらにみんなが暮らす街を、大切に思えました。(私は札幌市民ではありませんが、親しみがある街なので) 参加してよかったです。ありがとうございました。
- ◆せっかくの得難い機会なので多様な人々の参加が望ましいとは思いますが、次代を担う子供たちと接する先生方やその候補生(学生)の皆さん方の意欲に敬服します。今後のご活躍に期待しております。
- ◆半日の企画は初めてでしたが、歩いて回るには丁度良い時間でした。地元札幌のこともこれからも深掘りする企画があることを楽しみにしています。
- ◆道路の幅の秘密や創成橋についてなど、札幌に何気なく存在しているインフラについて学ぶことができてよかった。普段、あまり意識せずインフラを利用している人が多いと思うので、他の人に今回学んだことを話してみたいと思う。